

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	5月	26日	記入者	亀田幸英
調査者名	小倉	亀田	仲谷	橋詰	

調査対象先	万法寺(浄土真宗本願寺派)				
所在地	宇陀市大宇陀小出口2284			電話番号	0745-83-0235
代表者 調査対応者	津田芳雄住職(16代目)				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 棟	国宝:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	江戸初期の古式で簡素な真宗本堂は承応2年(1653)の建立と伝えられ、平成5年3月5日に県指定文化財となっている。平成25年度より半解体の修理工事が開始された。震度7に耐える耐震工事実施中。
	今後の予定	天井を軽くしたり、骨組みは残して強化し、床下の基礎を補強プレートで強化する予定で、完成は平成34年~35年の予定。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	消防署の指導による消防法上の防火対策は実施されている(年2回)。避難訓練も消防署と一緒に毎年行っている。お寺の裏が宇陀川なので貯水槽などはない。
	今後の予定	本堂解体修理中につき特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	万法寺(浄土真宗本願寺派)
-------	---------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	本堂解体修理中につき、特になし。



万法寺正門



重伝建の街並みと万法寺

解体前の本堂(インターネットより)

本堂は解体工事につき覆いが掛かっている



本堂解体中につき庫裡に安置のご本尊



【調査票記入者(亀田幸英)の感想】



県指定文化財の本堂は2013年より半解体修理中、完成は2022年～23年の予定。震度7に耐えるとのこと。完成後の勇壮な本堂を拝観したいと願う。